

人材育成への取り組み

SBIグループが考える「有為な人材」

私たちが育成を目指す「有為な人材」とは、一部門・一企業の利益に貢献するだけでなく、広く経済・社会に貢献しようとする高い志を有し、ビジネスにおける高い専門性を備え、国際的視野を持ち、確たる倫理的価値観と実行力を伴う胆識を備えた人物のことをいいます。私たちは、日本の未来を担う「有為な人材」を一人でも多く輩出していきたいと考えています。

SBIグループでは、急速に業容が拡大するSBIグループの未来を担う優秀な幹部候補の確保と、独自の企業文化を育み継承する人的資源の育成を目的とし、2006年3月期より新卒採用を開始しています。これまで合計264名の新卒者が入社しました。

SBIグループは人材育成において多様性（ダイバーシティー）を尊重しており、年齢や性別、国籍、経歴、障がいの有無などにかかわらず、様々な人材が能力を発揮し、成長できる環境を目指しています。

SBI大学院大学を通じた人材育成への取り組み

SBI大学院大学では、学長兼理事長である北尾社長の社会貢献に対する考え方から、確たる倫理的価値観と科学的経営理論とを具備した「人物」の育成を重要な教育方針として、「徳育」と「実学」に重点を置いた教育を実践しています。このような素養を備えた経営者の育成によって、日本経済の健全な発展のみならず、国際的な場においてもリーダーシップを発揮することができるプロフェSSIONALの創出に貢献できると考えています。

また、SBI大学院大学では日本の将来を担うリーダーの早期育成という観点から、社会人経験者を対象として幅広い層からの入学志願者を募集しています。働きながら受講できるよう、授業はインターネットを利用したeラーニング形式や、iPod touch※、iPhone※などからも講義を受けられるようにしています。また、単科コース及びディプロマコースの開設や長期履修学生制度の創設

など勉学の利便性を高めているほか、2012年2月には3回目となる「ビジネスプラン実践道場」を開催し、起業家を支援するための実践的な学びの場を、一般にも提供しています。このほか、外国人学生に対する授業料減免制度を設け、東南アジアを中心とする学生を積極的に受け入れるなど、多様な教育機会を提供しています。

※iPod touch、iPhoneはApple Inc.の商標です。

SBI大学院大学の軌跡

- | | |
|----------|---|
| 2006年5月 | 人材育成を担うSBIユニバーシティ(株)を設立 <ul style="list-style-type: none">・「人物をつくる」ため、講師を招き公開講義を開催(例)Steve Chang (Trend Micro創業者)、安岡 正泰・大学院大学設立準備 |
| 2007年4月 | 文部科学省に大学院大学設置を申請 |
| 2007年12月 | 文部科学省よりSBI大学院大学設立の認可取得 |
| 2008年4月 | SBI大学院大学が開校 <ul style="list-style-type: none">・起業家育成のためのプロフェSSIONAL教育機関・最新の技術を利用したeラーニングによる教育体制 |
| 2009年11月 | 「SBIビジネスプラン・コンテスト2009」開催 |
| 2010年3月 | 第1期生の修了式挙行 |
| 2010年4月 | 単科コース開設 |
| 2010年7月 | 教員の共同執筆による「起業の教科書」(東洋経済新報社)刊行 |
| 2010年11月 | 「第2回SBIビジネスプラン・コンテスト2011」開催 |
| 2010年11月 | ベトナムの私立大学FPT大学と包括提携基本合意 |
| 2011年4月 | 長期履修学生制度の創設 |
| 2011年10月 | ディプロマコース開設 |
| 2012年2月 | 「第3回ビジネスプラン実践道場」開催 |



SBI大学院大学の学位授与式・入学式



ビジネスプラン実践道場